

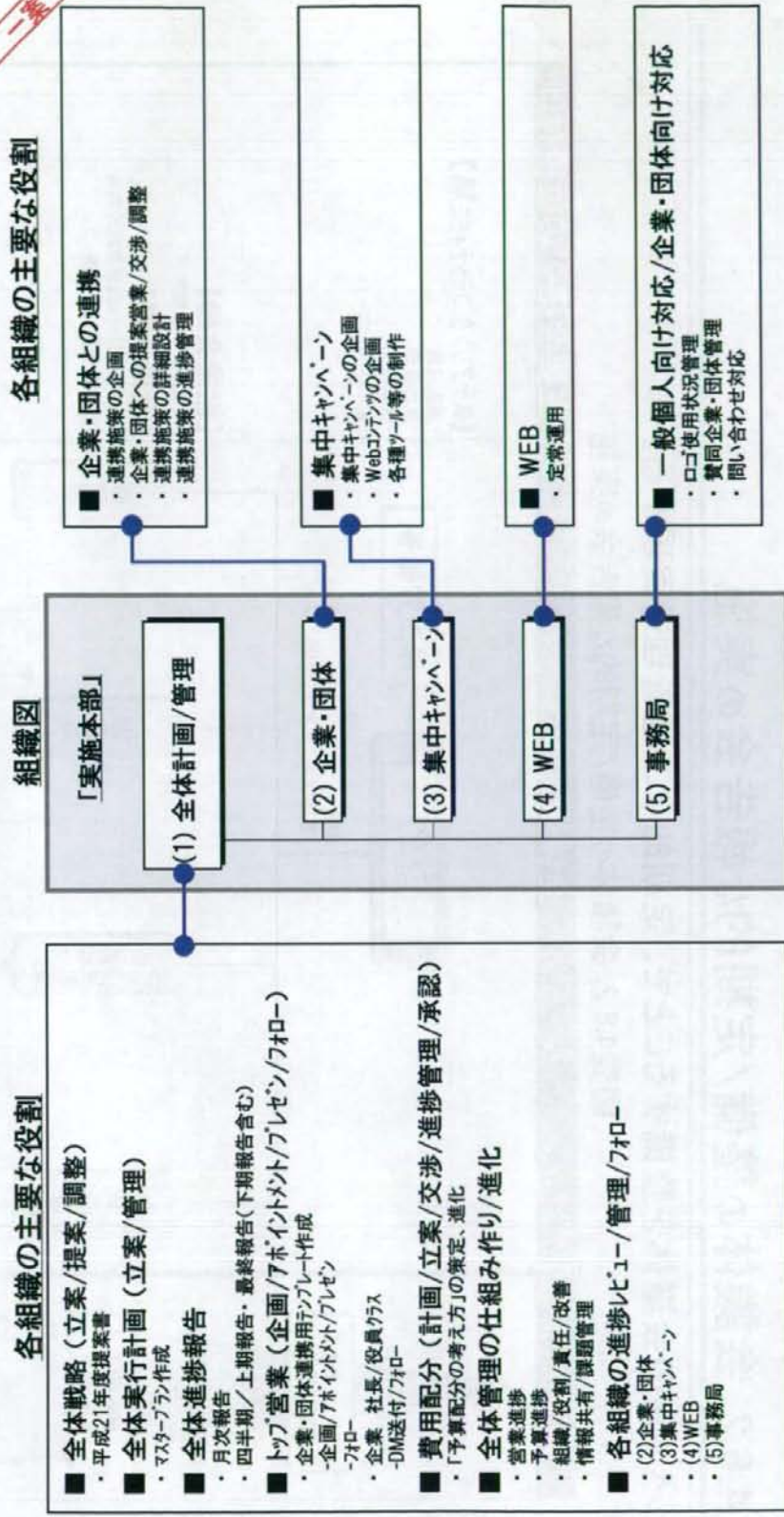
4.6. ③ 実施本部の設置



4.6.1. 各組織の主要な役割

集中キャンペーンや企業連携を推進する実施本部の役割として、下記が想定される。

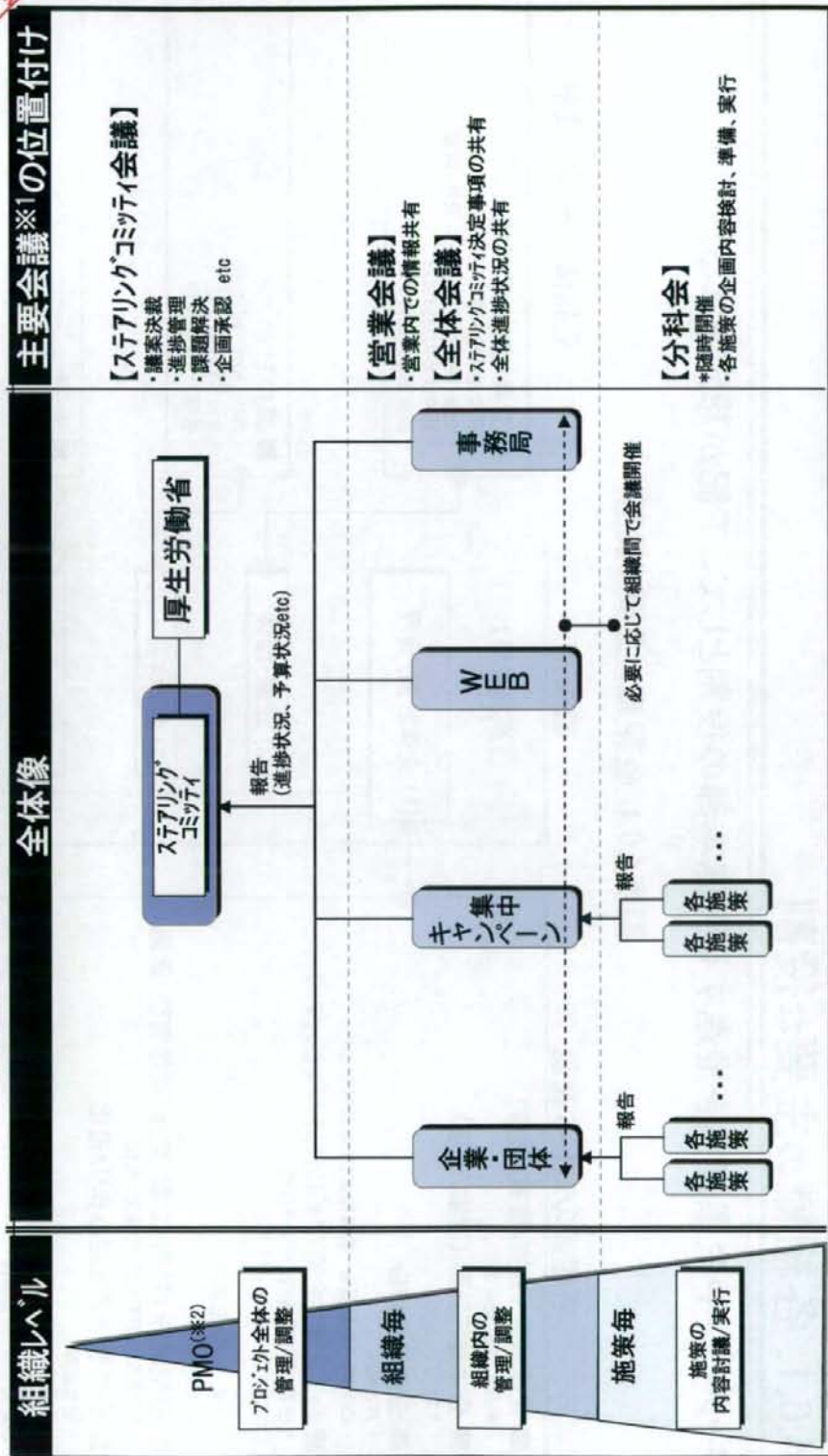
図表4.6.1. 各組織の主要な役割



4.6.2. 会議体の整備/定期的な報告会の実施

組織レベル毎の会議体を整備することで、定期的な工程管理を実現する。

図表4.6.2. 会議体の整備/定期的な報告会の実施

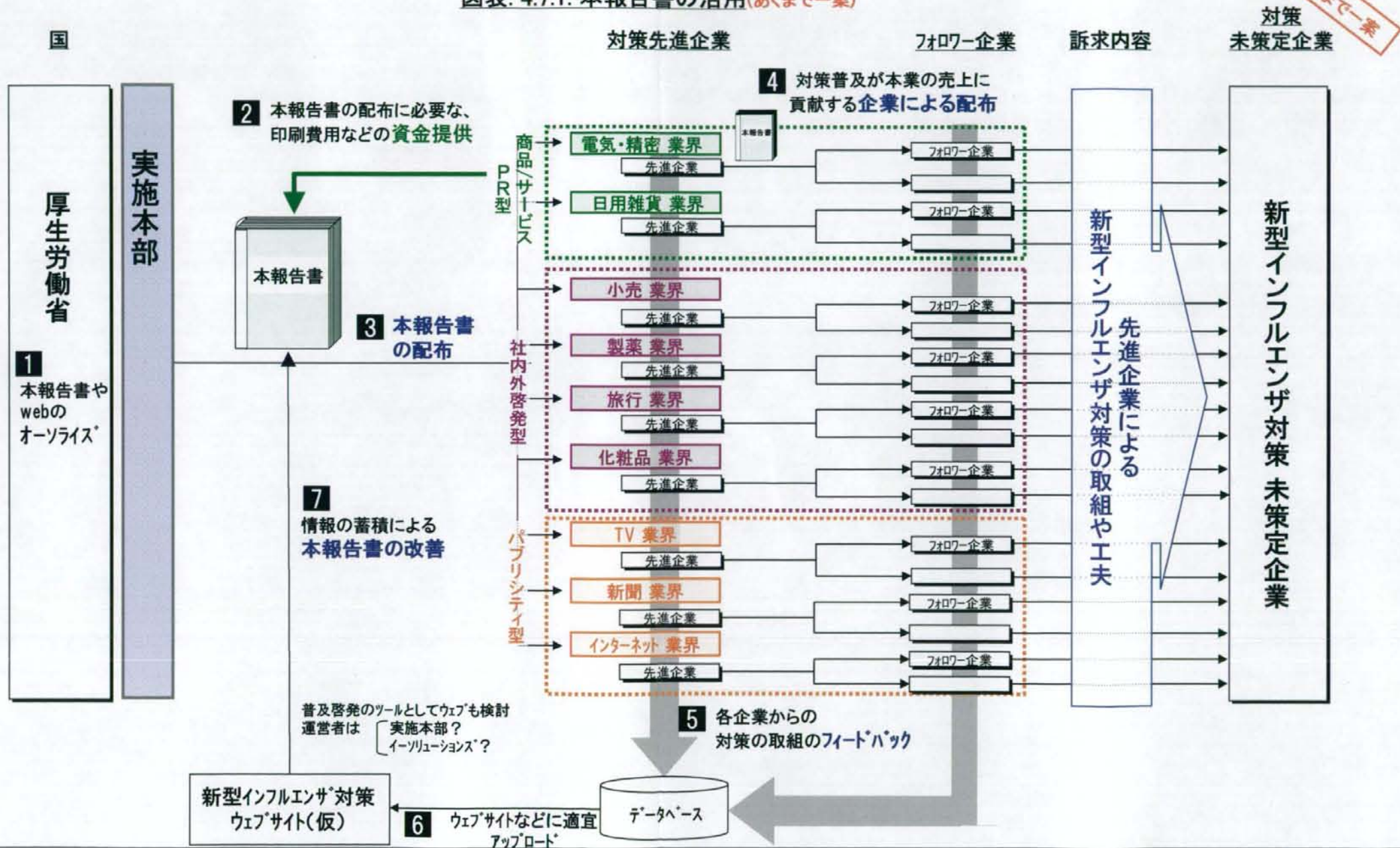


※1 組織内/施策内会議はそれぞれの担当課室について討議、報告、共有を行う
 ※2 プロジェクトマネジメントオフィス

4.7.1. 本報告書の活用(あくまで一案)

本報告書を、商品/サービスPR型企業の資金提供により、企業に配布することで、企業の対策が加速すると考えられる。さらに、各企業からの対策の取組のフィードバックにより、本報告書のさらなる改善を行うことなども考えられる。

図表. 4.7.1. 本報告書の活用(あくまで一案)



4.8. 全体シナリオ概要(案)

H21年度に本報告書の活用や、実施本部設置、集中キャンペーンを行い対策の策定に関する機運を高める。H22年度以降企業連携による啓発に重点をおき、策定企業の更なる拡大による被害の抑制を目指す。

図表4.8. 全体シナリオ概要(案)

凡例：赤字は特に注力することが想定される施策

		H21年度	H22年度	H23年度	
コンセプト		産業界の基盤づくり 「実施本部」運営体制の足固めを実施するとともに、本報告書の活用や集中キャンペーンで機運を高める	企業連携による啓発の強化 H21年度の連携基盤を活かし、企業連携による啓発を強化	参加企業の更なる拡大 参加企業をさらに増やし、優れた対策の普及啓発拡大	
	全体計画/管理 「実施本部」	①実施内容精査	・ 統一メッセージやガイドラインなど施策詳細策定および、実行計画の修正	・ 統一メッセージなど施策詳細決定および、実行計画修正	・ 統一メッセージなど施策詳細決定および、実行計画修正
		②全体管理および報告	・ プロジェクト進捗管理や報告の実施	・ プロジェクト進捗管理や報告の実施	・ プロジェクト進捗管理や報告の実施
		③全体戦略策定	・ 翌年度の戦略策定を実施	・ 翌年度の戦略策定を実施	・ 翌年度の戦略策定を実施
		④審査	・ 対応体制構築、マニュアルの整備、連携企業の審査を「協議会」に確認しながら実施	・ 連携企業の審査を「協議会」に確認しながら実施	・ 連携企業の審査を「協議会」に確認しながら実施
		⑤効果測定	・ 効果測定を実施	・ 効果測定を実施	・ 効果測定を実施
		⑥窓口対応	・ 対応体制構築やマニュアルの整備、問い合わせ対応の実施、対応内容の分析	・ 問い合わせ対応の実施、対応内容の分析	・ 問い合わせ対応の実施、対応内容の分析
	団体連携 企業・	⑦トップ営業	・ アタクリスト作成やアポイント調整、提案資料作成・説明、連携案作成	・ アタクリスト作成やアポイント調整、提案資料作成・説明、連携案作成	・ アタクリスト作成やアポイント調整、提案資料作成・説明、連携案作成
		⑧連携支援及びアフターフォロー	・ 連携案作成、アフターフォロー	・ 参加企業80社の支援およびアフターフォロー (中規模の国民運動を実施した場合を想定)	・ 参加企業180社の支援およびアフターフォロー (中規模の国民運動を実施した場合を想定)
	キャンペーン 集中	⑨集中キャンペーン	・ 新聞広告を実施 (企業の活動と同期)	・ Web広告を実施 (企業の活動と同期)	(未実施)

4章まとめ：企業への普及計画(案)

企業への普及

新型インフルエンザによる社会機能への被害を抑制するためには、対策を準備している **企業数** を、出来るだけ早急に増加させることが重要である。

普及への障壁

企業の対策準備が遅れる背景には、「病気(新型インフルエンザ)の備えは自己責任である」などといった担当者の先入観や、優れた対策を共有する公式な場や仕組みがないこと、などが障壁として存在していると考えられた。

障壁に対する施策

これらの障壁に対し、①集中キャンペーンによる意識の変革、②企業・団体連携、③実施本部の設置、④本報告書の活用、といった施策が考えられる。

施策詳細

①集中キャンペーンでは、企業・メディアの同期化により普及効果を増大させる。②企業・団体連携では、企業・団体を、商品・サービスPR型、社内外啓発型、パブリシティ型、の3つの啓発型に分類することで、効果的にアプローチしていく。そして、それらの施策を推進するための③実施本部を設置する。また、企業に④本報告書を配布することにより、企業の対策策定がさらに加速すると考えられる。これらの施策により新型インフルエンザ対策を準備している **企業数** は効率的に増加すると考えられる。

Appendix I . 企業の対策状況アンケート結果

- I.1. アンケート調査概要
- I.2. アンケート質問表
- I.3. アンケート集計結果

I.1. アンケート調査概要

1. 調査目的

- ・企業における新型インフルエンザ対策の実態、意識を把握する

2. 調査設計

- ・調査方法: 郵送調査
- ・調査対象: 新型インフルエンザ対策検討の担当者
もしくは、総務・労務、経営企画等の危機管理担当部門の責任者
- ・調査地域: 全国
- ・サンプル数: 676 社 (約 2,000社に依頼)
※ 従業員規模が30人以上の企業で本社事業所へス(全従業員の7割を占める)
を対象とする

- 〔 調査主体: 厚生労働省
- 調査実施機関: イーソリューションズ株式会社、株式会社日経リサーチ
〕

3. スケジュール

- ・2009年2月4日(水)～2009年2月19日(木)

I .2. アンケート質問票

はじめに、貴社やあなた様についてお伺いします。

F1. 貴社の所属する業種はどれですか。主なものをお答えください。(ひとつだけ○印)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 農林水産・鉱業 | 11. 金融・証券・保険 |
| 2. 建設 | 12. 不動産 |
| 3. 食品 | 13. 運輸・通信・エネルギー |
| 4. 繊維・パルプ・紙 | 14. サービス |
| 5. 化学・薬品・石油製品 | 15. その他サービス |
| 6. 鉄鋼・金属・窯業 | 16. マスコミ |
| 7. 機械・電機・精密 | 17. 公務員・団体職員 |
| 8. 輸送機器 | 18. その他 |
| 9. その他製造 | |
| 10. 卸売・小売 | |

F2. 貴社全体の従業員数は何人ですか。(ひとつだけ○印)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 100人未満 | 5. 1,000～1,999人 |
| 2. 100～299人 | 6. 2,000～2,999人 |
| 3. 300～499人 | 7. 3,000人以上 |
| 4. 500～999人 | |

F3. 貴社は本社以外に事業所(拠点)がありますか。(いくつでも○印)

- 1. 事業所(拠点)が国内にある
- 2. 事業所(拠点)が海外にある
- 3. 事業所(拠点)が国内にも海外にもない

F4. あなたご自身の所属部署として最も近いものをお答えください。(ひとつだけ○印)

- 1. 総務、人事
- 2. 経営企画、社長室(社業全般に関わる部署)
- 3. 宣伝、広報、IR
- 4. その他(具体的に:)

F5. あなたご自身の役職として最も近いものをお答えください。(ひとつだけ○印)

- 1. 会長、社長、役員相当職
- 2. 本部長、部長相当職
- 3. 次長、課長相当職
- 4. 係長、主任相当職
- 5. 一般社員、職員
- 6. その他

貴社の新型コロナウイルス対策についてお伺いします。

Q1. 貴社では新型コロナウイルス対策を立てていますか。(ひとつだけ○印)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 対策はすでに立てた (Q3へ) | 3. 対策を今後、立てる予定である (Q3へ) |
| 2. 対策を検討中である (Q3へ) | 4. 対策を立てる予定はない |

Q2. (Q1で「対策を立てる予定はない」とお答えの方に) 新型コロナウイルスへの対策を立てないのはなぜですか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも○印)

- | | |
|--|-----|
| 1. 病気への備えは従業員の自己責任であるから | |
| 2. 新型コロナウイルスの具体的症状が明確でないため、対策の立て方がわからないから | |
| 3. 人的資源の都合上、人員を割けないから | |
| 4. 対策費用の拠出が困難であるから | |
| 5. 新型コロナウイルスはまだ発生していないから | |
| 6. 新型コロナウイルスが引き起こす事態は重大なものであり、一企業の対応能力を超えるから | |
| 7. その他 | [] |

→Q2にご回答された方はQ24へお進みください

Q3. 貴社には新型インフルエンザ対策を検討・実施する担当部署もしくは担当者が設置されていますか。
(ひとつだけ○印)

1. 設置している

2. 設置を検討している

3. 担当は特に設けない(Q4へ)

Q3SQ. (Q3で「設置している」・「設置を検討している」とお答えの方に) 貴社の新型インフルエンザ対策を策定する際の体制として最も近いのはどれですか。(ひとつだけ○印)

1. 通常の防災関連を担当する単一の部署(総務部等)が主に計画を推進

2. 複数の部署が協同してプロジェクトチームを構成し、計画を推進

3. 専任のチームまたは担当者を設置し、計画を推進

4. その他

[]

Q4. 新型インフルエンザ対策の検討や実施において、全社を巻き込み、組織横断的な対応が図れていますか。(予定含む)(ひとつだけ○印)

1. 社内調整により組織横断的な対応ができている 2. 組織横断的な対応はできていない (Q5へ)

Q4SQ. (Q4で「社内調整により組織横断的な対応ができている」とお答えの方に)
 具体的にはどのような組織が対策に関わっていますか。(いくつでも○印)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 経営企画部門 | 6. 情報システム部門 |
| 2. 人事部門 | 7. 購買部門 |
| 3. 総務部門 | 8. 海外事業部門 |
| 4. 広報部門 | 9. 産業医 |
| 5. 経理部門 | 10. その他 |

Q5. 貴社の新型インフルエンザ対策への経営層の関与について最も近いのはどれですか。(予定含む)
(ひとつだけ○印)

1. 担当役員を任命して対策検討や実施に関与（代表取締役本人含む）
2. 対策担当者が役員会議で対策状況を報告
3. その他
4. 役員の関与は特にない

Q6. 新型インフルエンザ対策の計画発動の基準についてあてはまるものを全て選んでください。(予定含む)
(いくつでも○印)

1. 自社の計画発動について、新型インフルエンザのフェーズを考慮した基準を検討・設定している
2. 自社のビジネスの在り方に合わせた、自社独自の基準を検討・設定している
3. 海外や空港周辺等、営業所毎の地域特性を踏まえた基準を段階的に検討・設定している
4. 事業復旧に関する基準を検討・設定している
5. 業界団体等で基準を検討・設定している
6. その他
7. 基準を設けていない

Q7. 貴社の新型インフルエンザに関する情報収集として、どのようなものを把握されていますか。

① あてはまるものを全て選んでください。(予定含む)(いくつでも○印)

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| 1. WHOの発信する行動計画・ガイドライン等 | [] |
| 2. 日本政府の発信する行動計画・ガイドライン等 | |
| 3. 国内の医療体制や薬事法令等(抗ウイルス薬購買・備蓄に関する制限等) | |
| 4. 自社拠点のある国内地域の自治体・保健所の行動計画・ガイドライン等 | |
| 5. 自社拠点のある国の政府の行動計画・ガイドライン等 | |
| 6. 自社拠点のある国の医療体制・薬事関連の法令等 | |
| 7. その他 | |

② ①でお選びになった項目で、最も情報が不足していると感じる番号をご記入ください。(ひとつだけ)

③ 厚生労働省、関係省庁対策会議作成の行動計画・ガイドラインについてあてはまるものを選んでください。(ひとつだけ○印)

- | | |
|-------------------------------|-----|
| 1. 内容を読んだことがあり、正確に理解できていると思う | [] |
| 2. 内容を読んだことがあり、だいたい理解できていると思う | |
| 3. 内容を読んだことがあるが、あまり理解できていない | |
| 4. 存在は知っているが読んだことはない | |
| 5. 存在を知らなかった | |

Q8. 貴社の対策検証のための訓練実施（机上シミュレーション/実地訓練）はしていますか。
（ひとつだけ○印）

1. 実施している
2. 実施を検討している
3. 実施の予定はない

Q9. 対策のアップデートについてどのようなようにお考えですか。（予定含む）（ひとつだけ○印）

1. 定期的、反復的な検証によるアップデートを実施
2. 定期的な検証は行っていないが、必要に応じたアップデートを実施
3. その他
〔
4. 対策のアップデートについては検討していない
〕

Q10. 貴社では被害想定や対策を検討する際、新型インフルエンザの特性としてどのようなものを想定されていますか。あてはまるものを全て選んでください。（いくつでも○印）

1. 広い範囲で同時期に多発するため、他地域からの援助や物流が困難な点
2. 感染のピークが2ヶ月程度持続し、複数回の流行が予測されている点
3. インフラへの被害ではなく人への感染被害が主である点
4. その他
〔
5. 上記のいずれも考慮しない
〕

Q11. 新型インフルエンザ発生時に自社の業務についてどのように検討されていますか。(ひとつだけ○印)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 通常通り継続する (Q12へ) | 3. 全面的に中断する (Q12へ) |
| 2. 一部事業について縮小する | 4. 検討していない (Q12へ) |

Q11SQ. (Q11で「一部事業について縮小する」とお答えの方に)

貴社では、新型インフルエンザ流行時に継続させる業務、休止させる業務の選定基準としてどのような項目を重視しますか。

【A.継続させる業務について】

① あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも○印)

- | | |
|---|-----|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 平時の売上貢献度の高い商品/サービス 2. 新型インフルエンザ発生時に需要の高まる商品/サービス 3. ニーズの大小にかかわらず、社会的に継続が求められる商品/サービス 4. オートメーション作業など被害発生が少ないと思われる領域での商品/サービス 5. 一度工程を止めると再開までに多額のコストが発生する商品/サービス 6. その他 | [] |
|---|-----|

② ①でお選びになった項目で、最も優先させる番号をご記入ください。(ひとつだけ)

【B.休止させる業務について】

① あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも○印)

1. 売上への影響が比較的少ない商品/サービス
2. 新型インフルエンザ発生時に需要の減少する商品/サービス
3. 多数の従業員が関与し、安全性が確保しづらい商品/サービス
4. 顧客の安全性にリスクを生じさせるおそれのある商品/サービス
5. その他

[]

② ①でお選びになった項目で、最も早く休止させる番号をご記入ください。
(ひとつだけ)

Q12. 新型インフルエンザ流行時において継続させる優先業務の遂行に必要なリソース(資源、人やモノ(システム含む))を特定していますか。(ひとつだけ○印)

1. 特定している
2. 特定中/特定予定
3. リソース特定の予定はない